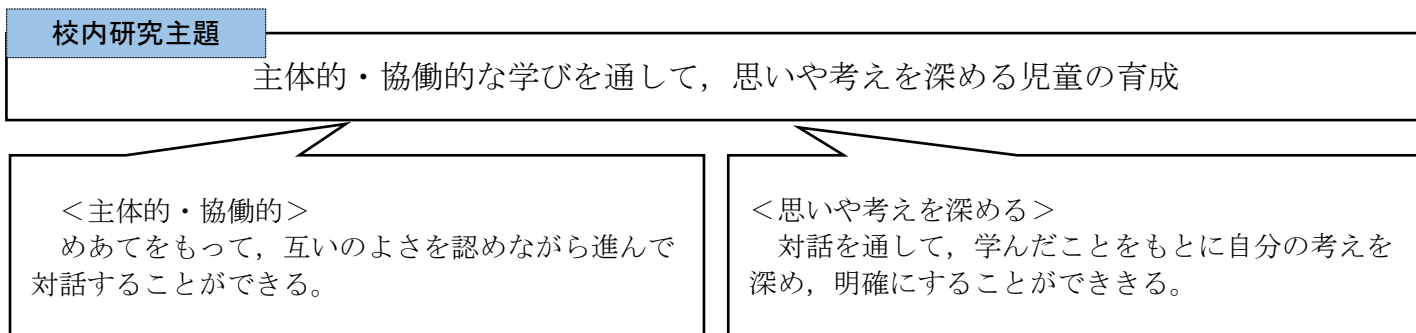


学習指導要領	教師の願い	児童の実態
○話し合いの進め方の検討, 考えの形成, 共有(話し合うこと) オ 目的や進め方を確認し, 司会などの役割を果たしながら話し合い, 互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめること。	本単元を通して, 互いの意見の共通点や相違点に着目することで, より目的に合う, より対象相手のことを意識して考えをまとめていくことを, グループの話し合いを通して身に付けてほしい。	ペアでの話し合いにはスムーズに取り組むことができ, 自分の考えを分かりやすく伝えようとしている。本単元を通して, 話し合いをより豊かなものに, 役立つようにしようという意識を育てたい。



国語科における目指す児童像(中学年)
進んで対話し, 互いのよさを認めながら, 自分の考えを明確にできる児童

仮説
児童が興味をもって取り組める目的意識と相手意識を明確にした話し合いの話題を提示することで, 児童は自分の考えをもち, 進んで対話することができるだろう。また, 共通点や相違点に目を向けながら考えを整理することで自分の考えを明確にできるだろう。

研究主題に迫る手だて

(1) 進んで話し合い活動を行う工夫

- ① 「1年生が本をすきになってくれるような、読み聞かせをする。」という目的意識と相手意識を明確にした課題を設定した。
- ② 低学年からの既習を生かす
 - ・高二トーク
 - ・ペアトーク
 - ・掲示物「つながり MAX」

(2) 話し合いを整理するための工夫

- ・付箋の活用
キーワードを付箋に書くことで、共通点や相違点に気付き、目的に合った話し合いができるようにする。

第3学年国語科学習展開案

令和3年10月22日（金）第5校時
杉並区立高井戸第二小学校 第3学年4組 27名
授業者 主任教諭 福島かをる

1 単元名 「1年生が本をすきになってくれるような読み聞かせをしよう！」 9時間扱い

2 単元の目標

- 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使い、語彙を豊かにすることができる。
(知(1)オ)
- 目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶことができる。
(思A(1)ア)
- ◎目的や進め方を確認し、役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめることができる。
(思A(1)オ)
- 話し合いを進行するための言葉のよさを感じながら、1年生に紹介する本を選ぶ話し合いで、考えを伝え合おうとする。
(主)

3 単元の評価規準

知識・技能	・話し合いを円滑に進行するための言葉の使い方を理解し、使っている。
思考・判断・表現	・目的を意識し、話題に沿って自分の考えをもっている。 ・目的や進め方を確認し、役割を果たすために大事なことを考えている。 ・役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめている。
主体的に学習に取り組む態度	・学習課題を理解し、これまでの経験を想起するなどして学習する意義を感じながら、取り組もうとしている。 ・役割を果たしながら話し合って考えをまとめるために、見通しをもって準備を進めようとしている。 ・司会などの役割を果たしながら、試行錯誤して、グループで話し合い、考えをまとめようとしている。

4 単元について（教材観 児童の実態）

(1) 学習指導要領との関連

〔知識及び技能〕

- (1) イ相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。
オ様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。

〔思考力、判断力、表現力等〕

A 話すこと・聞くこと

- (1) ア目的を意識して、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと。

オ目的や進め方を確認し、司会などの役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめること。

(2)学習材観

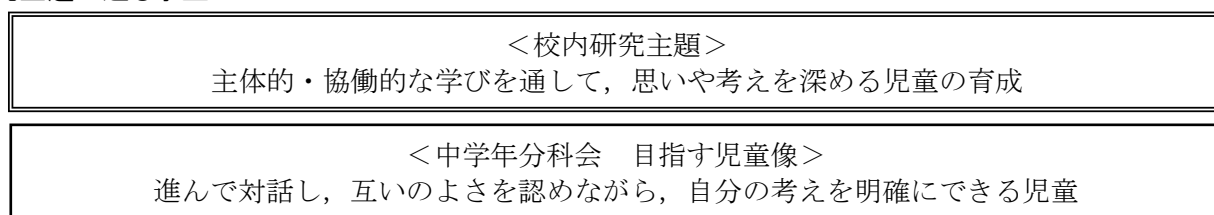
本学習材では、「1年生が本をすきになってくれるような、読み聞かせをする。」ということを最終の目的としている。その目的のために、「どんな本がいいのか」を一人ひとりが考え、目的意識、相手意識、具体的な配慮といった合意形成に至るための観点が分かりやすい学習材である。話し合いをする中で、目的や進め方を確認したり、司会などの役割を果たしたりしながら、互いの意見の共通点や相違点に着目して、考えをまとめていく学習ができる。最初に自分で考えた意見を基にして、グループでの話し合いを通して、目的や対象相手のことを考えて、よりよいものにしていくことができる学習材である。

(3)学習者について

本クラスの児童は、ペアで話し合ったり、近くの人とグループになって話し合ったりすることについては、スムーズに活動に取り組める児童が大半である。また、自分の考えを分かりやすく伝えようと努力している。しかし、話し合いがより役立つよう、話題からずれないように話し合いを進める力をさらに高めていきたいと考える。

本単元のグループでの話し合い活動では目的意識や相手意識を十分にもった上で、互いの意見を認め合ったり、互いの意見の共通点や相違点に着目したりして、よりよい考えにまとめていく力を身に付けさせていきたい。

5 研究主題に迫る手立て



(1)単元計画の工夫

①年間を通した対話の力の育成

1・2年生で培ってきた対話の力を生かし、1学期の話し合い単元「山小屋で3日間すごすなら」では5時間かけて3～4人の話し合いの仕方について取りたてて指導をした。本単位ではこのときの話し合いの仕方を想起させてから始めることで、相手の意見を肯定的に受け止めたり、共感したりする態度や言葉について具体的に振り返り、学んだことを意識して実践に生かせるようにした。

なお、低学年で「友達のお宝情報をゲットしよう」や「お話ピンポンゲーム」の学習に取り組んでいる。そこで学習した「つながり MAX」を活用してペアトークを上手に行うことができる。低学年からの積み重ねを生かせるよう、必要に応じて「つながり MAX」に触れながら、指導を行った。

(2)相手意識をもたせる工夫

「1年生が本をすきになってくれるような読み聞かせをする。」というゴールを明確に提示する。そうすることで、話し合いが目的からそれることなく進められる。また、自分の考えをもつ時にも「1年生なら」という相手意識が根拠のある理由となり、自身の意見をより明確にすることができると考えた。

(3)付箋の活用

付箋に自分の考えを書くことで、話し合いがスムーズに行われると考えた。付箋に記入する内容は、精選して

キーワードのみを書くこととした。詳しく書かないことで、話し合いの時、「どうしてそう思ったのか？」という対話が積極的に行われるのではないかと考えた。また、共通点や相違点に着目した話し合いができると考えた。

6 単元の指導計画(全 8時間扱い)

時	目標	主な学習活動	評価規準 (評価方法)
1	1 年生が本をすきになってくれるような読み聞かせをしよう 学習課題を設定して学習の見通しをもち、話し合いの目的や決めることを確かめて、自分の考えをもつことができる。	- 学習計画について、グループで話し合う。 - 学習計画を全体で立てる。 - 自分の意見(どの本を読み聞かせするか)をもち、理由をそえて記録する。	思 目的を意識し、話題に沿って自分の考えをもっている。(観察・ワークシート) 主 学習課題を理解し、前回までの話し合いの経験を想起するなどして学習する意義を感じながら、取り組もうとしている。(観察・記述)
2	第 1 回目の話し合いに向けて、話し合いの役割を考え、見通しをもつことができる。	- 第 1 回目の話し合いの流れをグループ(3～4人)で考える。 - 話し合いの流れを全体で確認する。(ポイントレッシン) 「山小屋で三日間をすごすなら」の話し合いのときに、困ったことを話し合う。 - よりスムーズに話し合いをするために、どうしたらいいかを話し合う。 - スムーズに話し合うために、どうしたらいいかをまとめる。	思 目的や進め方を確認し、役割を果たすために大事なことを考えている。(観察・記述) 主 役割を果たしながら話し合っ て考えをまとめるために、見通しをもって準備を進めようとしている。(観察)
3	お互いの本を読み合い、話し合いの準備を行うことができる。	図書の時間を利用して、友達の選んだ本を読み、お互いに選んだ本のよさを知る。	主 友達の選んだ本を進んで読み、話し合いに向けて主体的に準備を進めようとしている。(観察)

4 本時	話し合いの目的や進め方を確認し、それぞれの役割を果たしながら、意見をまとめることができる。	- 第1回目の話し合いをするために、話し合いのしかたを確認する。 - グループで話し合う。 - 各グループで決まったことを発表する。 - 振り返りをする。 - 次の話し合いに向けて生かしたいことを確認する。	知話し合いを円滑に進行するための言葉の使い方を理解し、使っている。(観察) 思役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめている。(観察) 思目的や進め方を確認し、役割を果たすために大事なことを考えている。(観察)
5	第2回目の話し合いに向けて、内容や役割を確認し、話し合いの準備を行うことができる。	- 第2回目の話し合いをするための話し合いの内容を話し合う。 - 話し合いの仕方を確認する。(ポイントレッスン) - 話し合いの計画を立てる。	思第1回目の話し合いの反省点を踏まえて、グループで話し合い、考えをまとめようとしている。(観察)
6	話し合いの目的や進め方を確認し、それぞれの役割を果たしながら、意見をまとめることができる。	- 第2回目の話し合いをする。 - 第2回目の話し合いで決まったことを発表する。 - 話し合いを振り返る。	知話し合いを円滑に進行するための言葉の使い方を理解し、使っている。(観察) 思役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめている。(観察) 主役割を果たしながら、試行錯誤して、グループで話し合い、考えをまとめようとしている。(観察)
7	今までの学習を振り返り、話し合いの仕方をまとめることができる。	- 第2回目の振り返りを、全体で発表する。 - 今までの話し合いで学んだことを、グループで話し合い、発表する。 - 話し合いの学習のまとめをする。	知話し合いをする上で大切なことについて理解している。(観察・ワークシート)
8 9	1年生に読み聞かせをするために、読み聞かせの練習を効果的にすることができる。	※読み聞かせは単元終了後、1時間程度で実施する。 - 読み聞かせの練習をする。 - 練習の振り返りをする。 - 再度練習する。	主目的を意識して、読み聞かせの練習をしている。(観察)

本時の指導(4/9)

(1)ねらい

- ・話し合いの目的や進め方を確認し、それぞれの役割を果たしながら、意見をまとめることができる。

(2)展開

学習課程	主な学習活動	○指導上の留意点 ◆評価
1 年生が本をすきになってくれるような読み聞かせをしよう！		
1. 前時までの学習を振り返る。 2. 本時の学習内容とめあてを確認する。		○話し合いのグループは、活発な意見交換のために人数を3人とし、教師が意図的に設定する。
役わりにおうじて話し合い、グループの考えをまとめよう。		
3. 役わり(司会・時間係)について確認する。		○掲示物を提示して、学習の流れを確認できるようにする。
4. 第1回目の話し合いをするために、話し合いの進め方を確認する。(2分)	① 意見を出し合う。 ② 出た意見をけんとうする。 →意見の内容について考えを言い合う。 ③ 目的に合うような本をえらぶ。	○以前に付箋に書いた自分の意見を活用することで、共通点や相違点に気付かせ、意見を整理しやすくする。
5. 役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめる。	・各グループで話し合う。	○実際に自分が選んだ本を用意し、話し合いに生かすようにする。 ○話し合いの途中で必要に応じて、進捗状況を確認する。 ◆話し合いを円滑に進行するための言葉の使い方を理解している。【知・技】(観察・ワークシート) ◆役割を果たしながら話し合い、互いの意見の共通点や相違点に着目して考えをまとめている。【思】(観察)
6. 話し合ったことを振り返る。	・各グループで振り返りを行い、決まったことや、話し合ったことをワークシートに記入する。 ・振り返りの内容を発表する。 ・学習感想を記入する。	○決まった本とその理由、どんな話し合いができたかを明確にして、振り返りができるように助言する。 ○よかったところ、うまくいかなかったところについて理由をそえて意見をまとめるように促す。

8 本時の手だて

- ・相手意識を持たせる工夫

1 年生への読み聞かせをゴールにしたことで、相手意識をもって話し合いができたか。

- ・付箋を活用した思考の整理

付箋の活用が、話し合いの内容を整理することに生かされていたか。

